

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 122ヶ所
布教所数 109ヶ所
よみほく数 3285人
(R182.0月末現在)

コロナ禍で各種行事の中止

本部参拝規制 相次ぐ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、本部では4月19日の「婦人会総会」をはじめ、「こどもおちばがえり」や「学生生徒修養会・高校の部」など、全国各地から多くの人が集まる様々な行事が相次いで中止となった。また、「緊急事態宣言」が全国的に発出され、都道府県を跨いだ移動を自粛するよう求められたため、「教祖誕生祭」や4月の月次祭はつとめ人衆のみでつとめられ、教会長をはじめ、ようぼく・信者の方は本部神殿での参拝を控え、各教会・布教所。自宅などから遙拝するよう通達があった。

5月の連休中は、朝夕のおつとめの時間を除いて、神殿、教祖殿、祖霊殿への昇殿を控えて

いただくよう求められ、神殿階下のシャッターが閉められるなどした。

5月19日に「緊急事態宣言」は一部の都道府県を除いて解除されたが、5月の本部月次祭は、直属教会長と教区長、6月は直属教会長と教区長、奈良教区の教会長の代表参拝とされた。

そのような状況の中、福島教区でも「教区祭」をはじめ、各部各会の行事が次々と中止となり、「全教一斉ひのきしんデー」も、全会場で中止となった。また、毎月2日の教区月次祭も5月は教区長と祭事部長でつとめ、教区連絡会も資料配布のみとなった。

各教会でも、教会本部より、「教会は、信者が礼拝や信仰実

践のために寄り集う場所である性質上、感染リスクが低くはない場所であることをよく自覚して、

常時から十分な防止策を考えて活動してください。「月次祭のおつとめは、おつとめ奉仕者、参拝者、周辺地域の人々の安全・安心によく配慮して勤めてください。(例)・講話や直会をやめるなど、おつとめ以外の時間の短縮・高齢者や感染リスクの高い人、不安を感じる人の参拝をお控えいただく・消毒、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの衛生管理を徹底する・換気を十分に行う」といったお知らせを受けて、それぞれに感染予防の工夫を凝らして、日々の活動や月次祭をつとめた。

新型コロナウイルスにおもうちこと

教区長 平澤勇一

「緊急事態宣言」が全国で解除された今も新型コロナウイルスの感染拡大によって、日本はもとより世界中が平穩無事な生活を送れない深刻な状況が続いています。

人生には3つの坂があるといわれています。「上り坂」、「下り坂」、そして「まさか」という坂です。その「まさか」が「自然災害」に続いて、「感染症」という世界的な病という形で現れたのであります。

そのような中、3月26日のご本部の月次祭は、「つとめ人衆」の先生方と、直属教会長、教区長のみの代表参拝で執行されました。これは新型コロナウイルスの感染拡大を最大限に防止するための教会本部の苦渋の決断からでありました。当日は、密閉、密集、密接の3つの密を避け、東西南北の礼拝場は扉を開放し、代表参拝者の私たちも間隔を大きく開け、マスクを着用しての参拝であり

ました。福島教区管内と直属教会につながる大勢の方々の思いを背負い、その代表という立場から、しっかりと「ぢばの理」を戴くべく緊張をもつての参拝となりました。神殿講話は行われず、御礼の参拝をさせていた

だけ終了となりました。教祖誕生祭の前日午前11時頃にご本部から、全国に「緊急事態宣言」が発令されたため、代表者も参拝を控えて下さいと連絡が入りましたが、すでに天理に向かい移動中でした。

4月18日午前9時30分に教祖殿御用場集合で教祖の誕生日を祝う歌『教祖御誕生祝歌』を皆さんで歌い、神殿礼拝場へ移動し、3月26日同様に間隔を大きくあけて着座し、心を込め緊張感をもって「かぐらづとめ」「十二下りてをどり」を参拝させていただきました。神殿講話は行われず、教祖殿で大亮様から教祖に向かつて祭文が奏上され、共に222回目の誕生日をお祝いさせていただきました。4月26日の本部月次祭は、「つとめ

人衆」のみで執行と発表され、代表者も参拝を控えて下さいと指示されましたので、自教会で遙拝させていただきました。大教会長になつてからは、本部の月次祭を参拝出来なかつたのは初めてのことでした。それほど、ご本部では感染拡大防止に関して最善策を講じているとのことであり

ます。5月26日も代表参拝となり、大勢の方々の思いを背負つてこの月も緊張をもって参拝をさせていただきました。

「緊急事態宣言」が解除され、県を越えた移動の制限もなくなった去る6月26日の月次祭では、直属教会長、教区長、集会員、そして奈良教区管内の教会長の方々が、代表としてマスクと教服着用で昇殿参拝をさせていただきました。神殿講話も行われました。現状を見極めた上からの有難い配慮でありました。

7月からは、直属教会ごとに今年の12月までのあいだ、マスクを着用

し、教服を着て教会長が割り当て人数に従って昇殿し、代表参拝をさせていただくことになりました。全教ようぼく信者の代表として、まずは竜頭である教会長が「ぢばの理」を戴いてもらいたいというご本部の強い思いからだと思えます。その思いをしっかりと受け取り、各教会の代表としておぢば帰りをさせていたいただきたいと存じます。

福島教区でも、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ず教区祭や婦人会総会等の行事の中止をさせていただきました。また、教務支庁ではアルコール消毒液を常備し、マスクの着用と、こまめな手洗いを促しています。

さて、信仰的には今回の事態をどのようにに思案させていただいたらいよいのでしょうか？その手がかりになるのは、原典の一つ『おふでさき』の中にあります。執筆されたのは明治2年から15年までであります。その間に「疱瘡(ほうそう)」（いわ

ゆる天然痘)と「コレラ」の感染流行がありました。「疱瘡」に関しては第12号95の歌に出てまいります。「コレラ」に関しては第14号22の歌に出てきます。それぞれの歌の前後を拝読いたしますと「心の入れ替え」と「つとめの実行」を強く促されていることがわかります。

12号では「人をたすける心」になってくれ、「世界中の人々がたすけ合いの心で歩んでほしい」と促され、「つとめの実行」によって、どんなたすけもうけようと教えて下されています。14号では「ようきづくめの心」になつてほしいと促されています。

『おふでさき』では、私たちにとつて大事な心がけは「神にもたれる心」、「人をたすける心」、「陽気づくめの心」と3つの心になることを教えられていると思えます。厳しい状況の中、自分自身にとつて3つの心が今どうなのかと問い直してみるのも大事なことだと思えます。

外への活動が制限される今日、い

かに信仰心を高めるかも大事なことだと思えます。まずは日々の「おつとめ」を通して、一日も早く終息していただけるように心を込めて祈り続けること。三原典を始め『天理教教典』や『教祖伝』『教祖伝逸話篇』を読み返したり、教理書を読んだり天理教のホームページを開いて信仰を求めたり、視聴することもいいでしょう。手作りのマスク作りや周辺の清掃ひのきしんをしたり、電話で声をかけ合ったりと、出来ることを実践させていただきたいものです。

(3)

「暮らしの場、で教えに親しもう

天理教のホームページに、布教部や青年会、道友社などが作成した、お道の教えの「聴く」「見る」「読む」に関連するコンテンツが集められています。講話は5分から10分で聴くことができます。

また、養徳社ではYouTube「陽気チャンネル」を開設。15分程度のお話動画を視聴できます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、それぞれの教会の活動にも様々な影響が出ています。今回は、そのような状況の中、どのように教会活動をを進めたのか教区主事3人に寄稿をいただきました。

コロナの中の教会活動

主事 荒井忠弘

「そんな事有るわけがない」という事は「必ず有る」という事を、この年齢までの経験上、確信します。本年は目度いお正月を過ぎてから、あれよあれよとまさかのコロナで世界中の恐怖となりました。お道の活動も縦横共にほぼ全てに於いて中止となり、現在に至ります。

私の教会では上級教会より「先ずはおつとめ」と毎日12時に合わせて一日も早い終息を祈願しています。三春町はお陰様で感染者が出ていないので、出ている地域の教会に比べると少し心に余裕があります。でも参拝、非参拝等は個人に任せております。

月次祭はマスクを付ける人は付けて、風通しをよくして消毒しながら勤めました。昼食は弁当にして自宅で食べていただきました。4月、5

月の月次祭はご存知の通り緊迫の中でありましたが、上級の会長さんと共におつとめをして、祭典講話では「コロナの中にあっても楽しむ生活を分かりやすくお話下され、一同元気をいただき誠に有難い事です。兔に角今のおつとめの心構えは、

当たり前の有難さを再認識

福島分教会では、月々のおつとめは所謂不要不急ではありませんから、おつとめ奉仕者に参拝の止め立てなどは一切しませんでした。しかし、奉仕者以外の方には、心配な方は遠慮無くお休み下さいとも伝えておりました。この節に当たっては銘々の判断を第一に、来る者拒まず来ん者追わずに徹しました。そして本部・大教会からの通達はそのまま流し、それぞれの判断材料としていただけるようにしました。

五下り目二つ「ふしぎなたすけハこのところ おびやはうそのゆるしだす」とあります如く、「ほうそのゆるし」を「コロナのゆるし」と心に思いを込めてつとめる事が肝心と思えます。緊迫した中にあっても不思議に勇んだおつとめになりました。

もう暫くはこんな状態が続くと思えますが、福島教区の皆様つとめ一条で乗り切りましょう。

主事 渡辺正彦

また、玄関やトイレ水回りなどにはアルコール消毒液、次亜塩素酸水溶液、消毒石鹼液、ペーパータオルなどを配置。手摺りなどの清掃消毒もこまめに行いました。更には血中酸素濃度包有量測定器を購入して、もしもの方が出ても直ぐに対応出来るよう、少しでも安心していただけよう配慮も致しました。

祭典は神殿講話を中止、弁当配布で散会、準備・後片付けも教会家族のみで行うなど、集う時間の短縮を

計り、奉仕者にはマスクの着用を推奨、窓を開いて換気を促し、鳴物の間隔を広げるなどの工夫もさせていただきます。

教会配布物も暫くは対面しての配布は取り止め、ポスティングや郵送に切り替え、にをいがけ日も一斉活動をとり止めています。

さて、本来自発的な筈の「自粛」の言葉が、半ば強権的とさえ感じってしまう程の昨今の風潮にも心倒さず、我が物としてお与えいただく自由な

新型コロナウイルス感染症に関して

主事 二瓶善一郎

新型コロナウイルスが国内でも蔓延して大騒ぎしている最中、私は4月20日頃から、身体のだるさを感じ、味覚や嗅覚は正常ですが、38度前後の熱と咳が止まらなくなりました。会津で最初の感染者となるのではと、不安と恐怖を感じました。4日間続いたので、明日病院へ行って、保健所でPCR検査をうける覚悟をしました。5日目になると咳は止まりませんでした。熱が平熱に戻りましたので、

心で喜びを見つけ、不自由な中からでも、させていただけの事はなにかと、扶け合いを前に進めておいでの方も沢山見聞きしています。

大難小難とお聞かせいただきますが、当たり前の日常が如何に有り難かったのか改めて気付かせていただいたばかりでなく、節から芽を吹くたのお言葉がしみじみと実感され、今まで以上に喜ばせていただいている私であります。

病院へは行かず自宅療養して様子を見ることにしました。その後だんだんと体調も良くなり、結局通院せず済みました。

実は、教会に泊まりに来た孫が、38度以上の熱をだして風邪を引いていたのです。その濃厚接触者が私で、単なる風邪でありました。一時はどうなるかと、動揺しましたが、ホット胸を撫でおろしました。

教内では『天理時報』、『みちのと

も』、『みちのだい』で、この度の大節をお道の信仰者としてどのようにな思案したら良いのか、ご本部の先生方からご教示くださっております。

教祖が、死に至る感染症の代表のような黒疱疹にかかった預かり子を助けられたこと、明治時代にコレラが大流行し、神のさんねんりのあらわれであること、さらにペスト病予防のため秋季大祭を延期したときの『おさしづ』などによれば、すべては親神様が人間に陽気ぐらしをさせてやりたいとの親心から、様々なお手入れ、みちおせ、手引きをして、ほこり心を掃い、私たち人間の心の入れ替え促して下さいます。互い立て合いたすけ合おう、むほんの起こらぬ、真の平和世界へと導いてくださることを堅く信じて、不足不満の感染をしないよう、させないよう心掛けながら、今与えられている自分の立場と使命を、しっかりと務めさせていただきます。と思っています。

今、私に出来る事 滝 幸恵(磐崎)

磐崎分教会では、不織布マスクが不足する中、手作りマスクのひのきしんをさせていただくことになりました。メールで声掛けをすると、職場の先生、信者さん方が各家庭にあった物をお持ち下さり、材料と道具が揃いましたので、「三密」にならないように、型どり、裁断、縫製、ゴム通しの作業を各家庭で分担して進めました。そして、大教会長様、役員先生、上級教会や自教会の信者さん、職場の先生方と子供さん、親戚、近所の方へと届けさせていただきました。他県の信者さんへは、御供様と手紙を添えて郵送させていただきました。おかげさまで3か月で300枚のマスクを作らせていただくことが出来ました。

今まで当たり前だったことが、決して当たり前ではないことに気付かせていただき、今後も、新しい生活様式を意識しながら、陽気づくめの心で、親神様のお心に沿わせていただけるようつとめさせていただきたいです。

.....東北ブロックの行事.....

Work&Talk 2020 in 福島

- 【日時】 8月29日(土)～8月30日(日)
- 【対象】 大学生、大学院生、短大生、専門学校生
- 【会場】 福島教務支庁
- 【費用】 2,000円



※各行事とも、新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更・中止になる場合があります。

.....福島教区内の行事.....

天理教基礎講座(福島会場)

- 【日時】 9月20日(日)午後1時30分～
- 【会場】 福島テルサ(福島市)
- 【講師】 宇恵義司先生(本部講師)(予定)

- 【日時】 11月29日(日)午後1時30分～
- 【会場】 相双支部会場(市)
- 【講師】 福島教区講師

- 【受講御供】 500円

成人塾

- 【日時】 8月9日(日)10時～15時
- 【会場】 磐城平大教会

- 【日時】 8月10日(月)10時～15時
- 【会場】 福島教務支庁

- 【日時】 8月11日(月)10時～15時
- 【会場】 會津平分教会

- 【対象】 小中学生
- 【費用】 300円

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)